

Pioneer

Serato DVS マニュアル

もくじ

はじめに

Serato DVS Expansion Packを購入する

- Serato DJを起動してmy serato画面を表示する
- Serato.comに登録したアカウント情報を入力する
- Serato DVS Expansion Packの購入手続きをする

Serato DVS Expansion Packをアクティベートする

- Serato DVS Expansion Packのバウチャーコードを入力する
- SETUP画面でSerato DVS Expansion Packがアクティベートされていることを確認する
- Serato DJを再起動する

バーチャルデッキ画面表示

- [REL]モード時のバーチャルデッキ画面表示
- [ABS]モード時のバーチャルデッキ画面表示

DVSを使う準備をする

- DDJ-SX2にアナログプレーヤーを接続する
- DDJ-SX2にDJプレーヤーを接続する
- ミキサーセクションを設定する
- Serato DJを設定する
- コントロール信号をキャリブレーションする

DVSを使ってトラックを再生する

- [REL]モード / [ABS]モードを選択する
- トラックをインポートする
- トラックをロードして再生する
- [REL]モード / [ABS]モード使用時の機能制限について

故障かな? と思ったら

はじめに

- DDJ-SX2をお買い上げいただき、ありがとうございます。
DDJ-SX2はSerato DJのDVS機能に対応しており、別途Serato社から「Serato DVS Expansion Pack」をご購入することで、本機に接続したDJプレーヤーやアナログプレーヤーでSerato DJのデッキ操作を行います。
- Serato DJのDVS機能を使うためには、my serato画面またはSerato オンラインストアで「Serato DVS Expansion Pack」を購入し、「アクティベート」をする必要があります。これらの手続きをするには、インターネット接続環境が必要になります。
(インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です)
- DDJ-SX2ではSerato DJのデッキ 1とデッキ 2をDVS用のデッキとして使うことができます。
- DVS使用時は、その特性上いくつかの機能が利用できません。
詳細は、「[REL]モード / [ABS]モード使用時の機能制限について」をご覧ください。
- DVS機能が有効の間は、DDJ-SX2でミックスした音をSerato DJ上で録音することはできません。(DVS機能を無効にすることで録音が可能になります。詳細は「SETUP画面でSerato DVS Expansion Packがアクティベートされていることを確認する」の項をご覧ください。
- Serato DJ、Serato DVS Expansion Pack、およびDDJ-SX2の仕様は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※ Serato DVS Expansion Packのサポート情報については、下記Serato社のウェブサイトをご覧ください。
<https://support.serato.com/hc/en-us>

DVS :

Digital Vinyl Systemの略。コントロールディスク(DJソフトウェアをコントロールするための専用信号が収録されたCD / レコード)の再生位置/再生速度に合わせてPC / Mac内の音楽ファイルを再生するシステムのことで

Serato DVS Expansion Packを 購入する

ここでは、Serato DJのmy serato画面から「Serato DVS Expansion Pack」を購入する手順を説明します。

- 下記Serato オンラインストアからも購入することができます。
<http://store.serato.com/us/software>

Serato DJを起動してmy serato画面を表示する

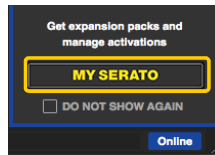
- DDJ-SX2とコンピューターをUSBケーブルで接続してから、DDJ-SX2背面部にある[STANDBY/ON]スイッチを押して、電源をオンにします。

- Serato DJを起動します。
Windows 7のとき
Windowsの[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] > [Serato]
> [Serato DJ] > [Serato DJ]のアイコンをクリックします。

Windows 8.1のとき
[アプリビュー]から、[Serato DJ]のアイコンをクリックします。

Mac OS Xのとき
Finderで[アプリケーション]フォルダーを開いてから、[Serato DJ]のアイコンをクリックします。

- Serato DJが起動したら画面右下の[MY SERATO]ボタンをクリックします。
・ [MY SERATO]ボタンが現れないときは、[Online]ボタンをクリックします。



Serato.comに登録したアカウント情報を入力する

- E-mailアドレスを入力する画面が現れたら、「Serato.com」へ登録したE-mailアドレスを入力してから、[CONTINUE]ボタンをクリックします。

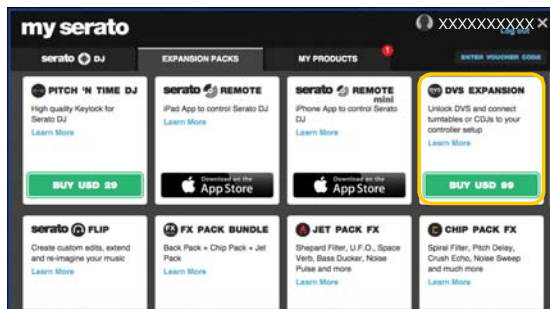


- パスワードを入力する画面が現れたら、「Serato.com」へ登録したパスワードを入力してから、[LOGIN]ボタンをクリックします。



Serato DVS Expansion Packの購入手続きをする

- my serato画面の「EXPANSION PACKS」タブをクリックします。

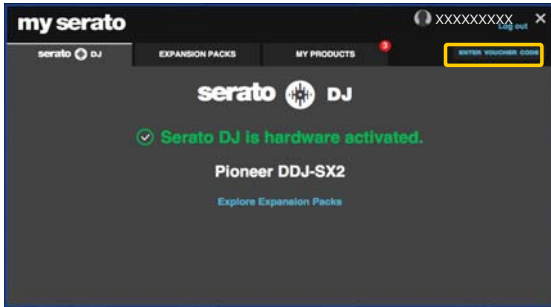


- 「DVS EXPANSION」を選び、[BUY USD XX]ボタンをクリックします。
- 画面の指示に従って、必要事項を入力します。
- Serato社から「Serato DVS Expansion Pack」のバウチャーコードが送られてくるので、無くさないように大切に保管します。

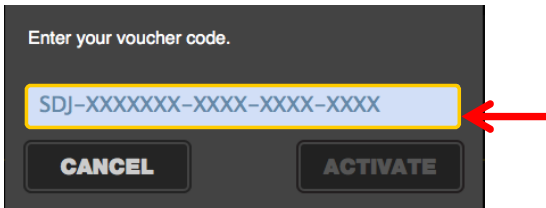
Serato DVS Expansion Packを アクティベートする

Serato DVS Expansion Packのパウチャーコード を入力する

- 1) my serato画面右上の[ENTER VOUCHER CODE]ボタンをクリックします。



- 2) Serato社から送られてきたパウチャーコードを入力します。



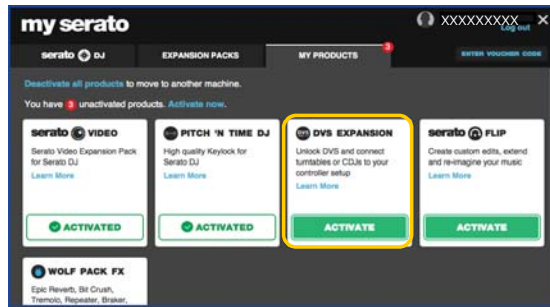
- 3) パウチャーコードを入力した後に、[ACTIVATE]ボタンをクリックします。

SETUP画面でSerato DVS Expansion Packが アクティベートされていることを確認する

- 1) Serato DJのメイン画面右上の[SETUP]ボタンをクリックして、SETUP画面を表示させます。
- 2) [Expansion Packs]タブをクリックしてから、[Vinyl/CDJ Control]を選択します。



- ・ [Vinyl/CDJ Control]が表示されない場合は、my serato画面に入ってから、[MY PRODUCTS]タブをクリックして[DVS EXPANSION]がアクティベートされているか確認してください。もし、以下の画面が表示されていたら、[ACTIVATE]ボタンをクリックしてください。



- 3) [Enable Vinyl/CDJ control]チェックボックスにチェックが入っていることを確認します。
 - ・ チェックが入っていない場合は、チェックを入れてください。



- ※ Serato DVS Expansion Packがアクティベートされると、DDJ-SX2のサウンドカードモードが[DVSモード]へ切り換わります。DDJ-SX2が[DVSモード]へ切り換えている間は、下の[画面 1]の状態になります。切り換えが完了するまで(約 1分ほど)待ちます。切り換えが完了すると[画面 2]の状態になります。

画面 1



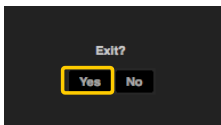
画面 2



- ※ [Enable Vinyl/CDJ control]チェックボックスのチェックを外すと、DDJ-SX2のサウンドカードモードは、[コントローラーモード]へ切り換わります。
- ※ サウンドカードモードが[コントローラーモード]のとき、音声データのビット深度が24で、コンピューターへ入力する音声データのチャンネル数がステレオ1チャンネルになります。Serato DJを使って録音するときは[Enable Vinyl/CDJ control]チェックボックスのチェックを外してこのモードにします。
- ※ サウンドカードモードが[DVSモード]のとき、音声データのビット深度が16でコンピューターへ入力する音声データのチャンネル数がステレオ2チャンネルになります。DVSを使うときは[Enable Vinyl/CDJ control]チェックボックスにチェックを入れてこのモードにします。

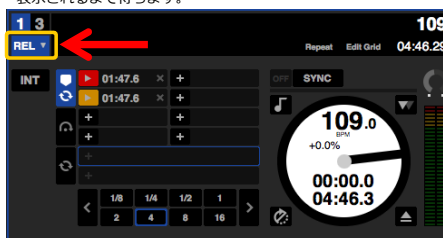
Serato DJを再起動する

- 1) Serato DJを終了します。
 - ・ キーボードの[esc]キーを押すと、終了の確認のための画面がコンピュータ上に表示されます。[Yes]をクリックして終了します。



- 2) DDJ-SX2背面部にある[STANDBY/ON]スイッチを押して、電源をオフにします。1分ほど待ってからコントローラーの電源を再度オンにします。
- 3) Serato DJを再起動します。

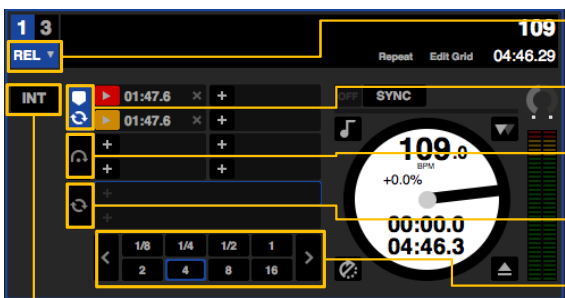
- 4) バイニールコントロールモードボタンの付いたバーチャルデッキが表示されるまで待ちます。



※ バイニールコントロールモードボタンの付いたバーチャルデッキが表示されるまで時間がかかる場合があります。

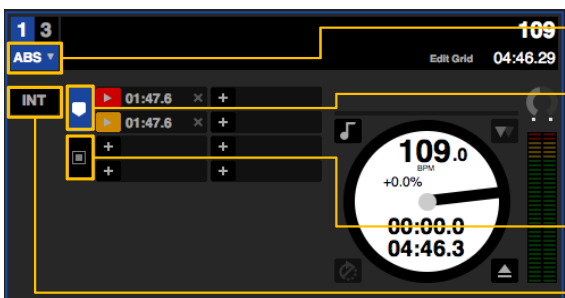
バーチャルデッキ画面表示

[REL]モード時のバーチャルデッキ画面表示



- [1] バイニールコントロールモード ボタン
[REL]モード / [ABS]モードを選択します。
- [2] キューポイント タブ
ホットキューポイントとループスロットの一部が表示されます。
- [3] Flip タブ
Flip スロットが表示されます。
- [4] ループ タブ
ループスロットが表示されます。
- [5] オートループ デファインドレンクス
オートループ / キューループのループの長が表示されます。
ループロール時のパッドの位置とループの長さの関係が表示されます。
- [6] インターナルモード ボタン
DVSを使わないとき(DDJ-SX2のジヨグダイヤルやボタン等を使ってトラックの再生コントロールをするとき)に、インターナルモード([INT]モード)にします。

[ABS]モード時のバーチャルデッキ画面表示



- [7] バイニールコントロールモード ボタン
[REL]モード / [ABS]モードを選択します。
- [8] キューポイント タブ
ホットキューポイントが表示されます。
- [9] アルバムアート タブ
アルバムアートが表示されます。
- [10] インターナルモード ボタン
DVSを使わないとき(DDJ-SX2のジヨグダイヤルやボタン等を使ってトラックの再生コントロールをするとき)に、インターナルモード([INT]モード)にします。

※ [ABS]モード時は、ホットキューの設定はできませんが、ホットキューの呼び出しはできません。

※ [REL]モード
コントロールレコード / CDの前後の動きのみを検出するモードです。CDJのようにホットキューやループ再生ができます。

※ [ABS]モード
コントロールレコード / CDの再生位置とトラックの再生位置がリンクするモードです。

DVSを使う準備をする

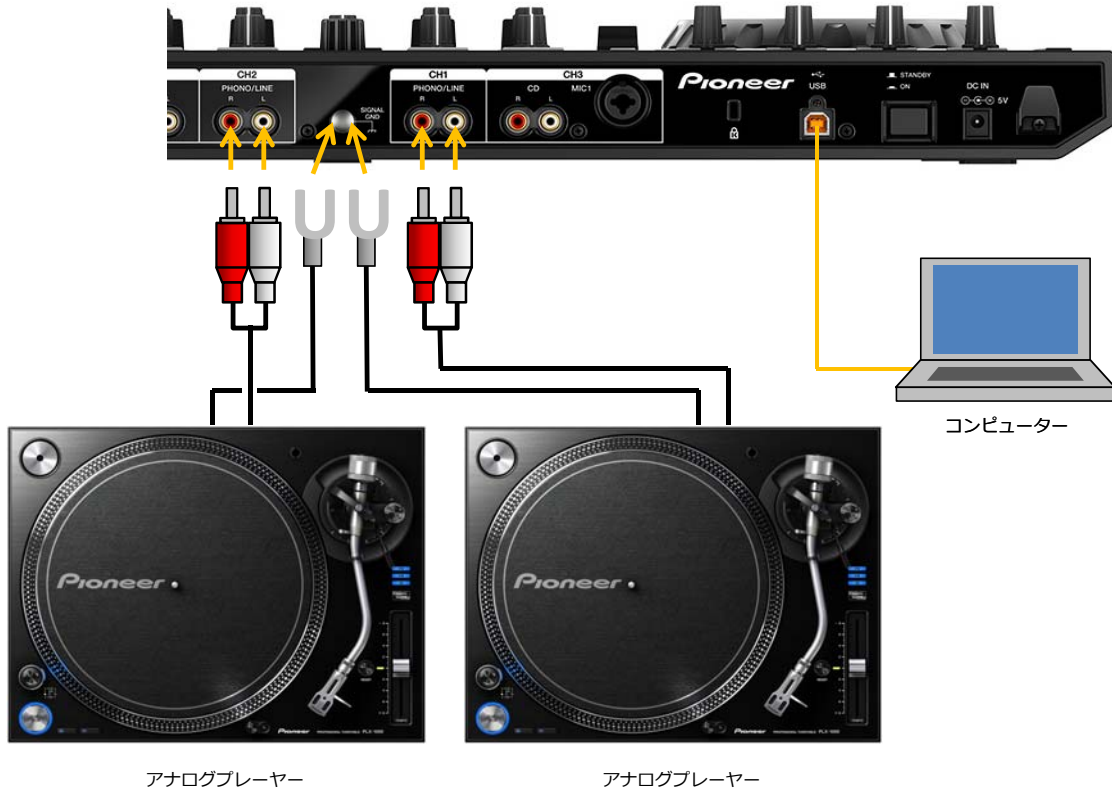
DDJ-SX2にアナログプレーヤーを接続する

- ※ DJプレーヤーを使用する場合は、「DDJ-SX2にDJプレーヤーを接続する」へ進んでください。
- ※ DVS使用時は、アナログプレーヤーとDJプレーヤーを1台ずつ使うことはできません。必ず2台のアナログプレーヤーか、2台のDJプレーヤーの組み合わせでお使いください。

- 1) DDJ-SX2の背面部にある[STANDBY/ON]スイッチを押して、電源をオフにします。
- 2) アナログプレーヤーの出力端子とDDJ-SX2の[PHONO/LINE]入力端子をRCAケーブルで接続します。
- 3) アナログプレーヤーのアース線をDDJ-SX2の[SIGNAL GND]端子に接続します。

※ アナログプレーヤーからのコントロール信号を安定させるために、アナログプレーヤーのアース線は必ずDDJ-SX2の[SIGNAL GND]端子に接続してください。

- 4) DDJ-SX2とコンピューターを付属のUSBケーブルで接続します。



- 5) チャンネル 1およびチャンネル 2の[INPUT SELECT]スイッチを[PC]の位置にします。

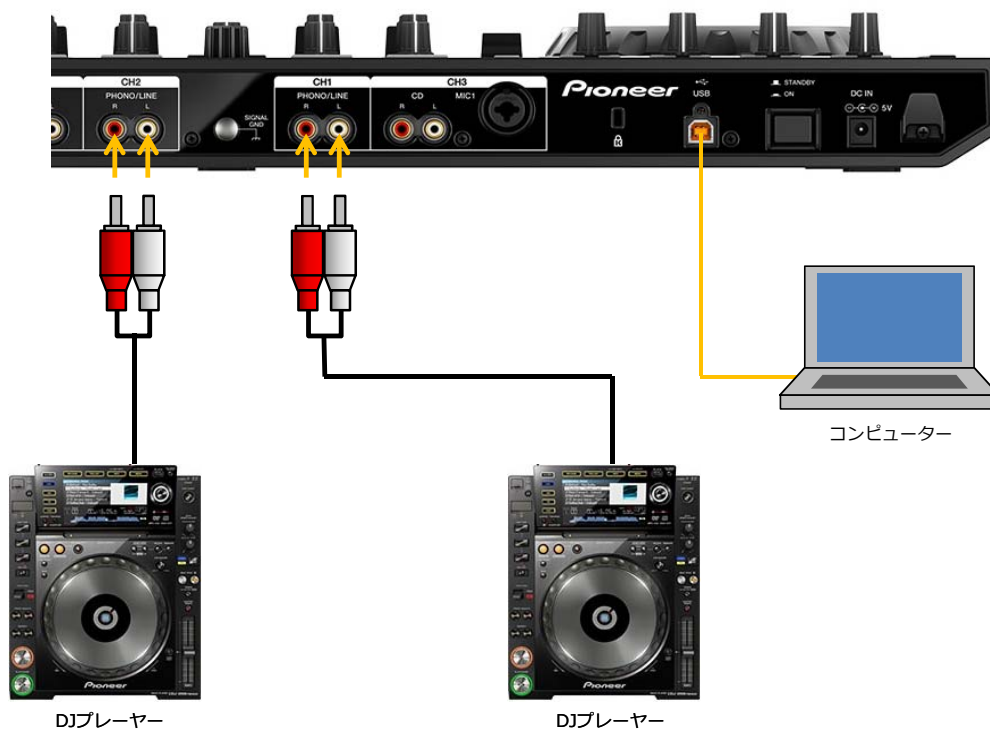


※ [MASTER OUT 1]端子、[MASTER OUT 2]端子、[BOOTH OUT]端子、および[PHONES]端子への機器の接続については、DDJ-SX2の取扱説明書をご覧ください。

- 6) すべての機器の接続が完了したら、DDJ-SX2の背面部にある[STANDBY/ON]スイッチを押して、電源をオンにします。
- 7) DDJ-SX2の入力端子と出力端子に接続された機器の電源を入れます。

DDJ-SX2にDJプレーヤーを接続する

- 1) DDJ-SX2の背面部にある[STANDBY/ON]スイッチを押して、電源をオフにします。
- 2) DJプレーヤーの出力端子とDDJ-SX2の[PHONO/LINE]入力端子をRCAケーブルで接続します。
- 3) DDJ-SX2とコンピューターを付属のUSBケーブルで接続します。



- 4) チャンネル 1およびチャンネル 2の[INPUT SELECT]スイッチを[PC]の位置にします。



※ [MASTER OUT 1]端子、[MASTER OUT 2]端子、[BOOTH OUT]端子、および[PHONES]端子への機器の接続については、DDJ-SX2の取扱説明書をご覧ください。

- 5) すべての機器の接続が完了したら、DDJ-SX2の背面部にある[STANDBY/ON]スイッチを押して、電源をオンにします。
- 6) DDJ-SX2の入力端子と出力端子に接続された機器の電源を入れます。

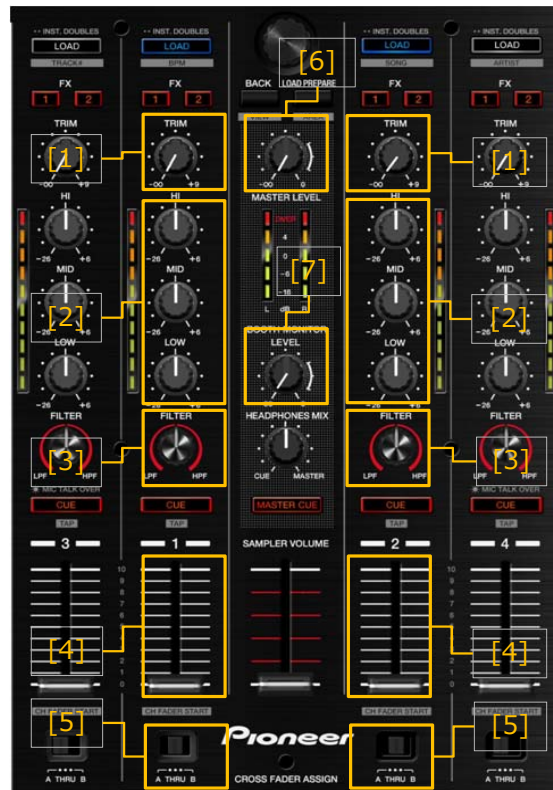
ミキサーセクションを設定する

チャンネル 1と2の[TRIM]つまみ、[EQ (HI, MID, LOW)]つまみ、[FILTER]つまみ、チャンネルフェーダー、およびクロスフェーダーアサインスイッチを以下のように設定します。

	つまみなどの名称	つまみなどの位置
[1]	[TRIM]つまみ	左に回しきった位置
[2]	[EQ (HI, MID, LOW)]つまみ	中心位置
[3]	[FILTER]つまみ	中心位置
[4]	チャンネルフェーダー	手前側の位置
[5]	クロスフェーダー アサインスイッチ	[THRU]の位置

[MASTER LEVEL]つまみと[BOOTH MONITOR LEVEL]つまみを左に回しきった位置にします。

	つまみなどの名称	つまみなどの位置
[6]	[MASTER LEVEL]つまみ	左に回しきった位置
[7]	[BOOTH MONITOR LEVEL] つまみ	左に回しきった位置



Serato DJを設定する

- Serato DJのメイン画面右上の[SETUP]ボタンをクリックして、SETUP画面を表示させます。
- [Audio]タブをクリックして、[TURNTABLES]か[CDJS]のどちらかを選択します。
 - アナログプレーヤーを使用する場合は、[TURNTABLES]を、DJプレーヤーを使用する場合は、[CDJS]を選択します。



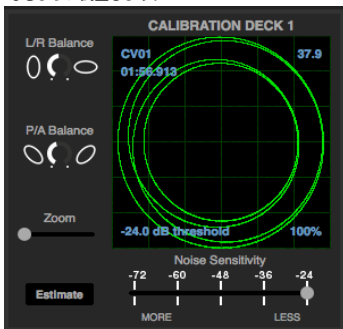
- ※ フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーをお使いの場合は、[CDJS]を選択します。
- ※ DVS使用時は、アナログプレーヤーとDJプレーヤーを1台ずつ使うことはできません。必ず2台のアナログプレーヤーか、2台のDJプレーヤーの組み合わせでお使いください。

コントロール信号をキャリブレーションする

- 1) アナログプレーヤーにコントロールレコードを(DJプレーヤーの場合は、コントロールCDを)セットします。

※ コントロールレコードは別売りです。お近くのSerato DJ取扱店または下記Serato オンラインストアから購入することができます。
<http://store.serato.com/us/vinyl/>
※ コントロールCDは、下記Serato社ウェブサイトより無償でダウンロードできます。
<http://serato.com/controlcd/downloads>

- 2) プレーヤーを操作して、コントロールレコード / CDを再生します。
- 3) Serato DJメイン画面右上にある[SETUP]ボタンをクリックして、SETUP画面を表示させます。
- 4) キャリブレーションデッキのスコープ上に緑の輪が表示されるので、真円に近くなるように調整します。



[L/R Balance] 垂直方向の歪みを補正します
[P/A Balance] 水平方向の歪みを補正します
[Zoom] スコープ上の輪を拡大します
[Noise Sensitivity] 設定値より低いレベルの信号はノイズと見なして処理します
[Estimate] 停止しているアナログプレーヤーのレコードの上に針を置いた状態で(DJプレーヤーの場合は一時停止または停止の状態)このボタンを押し続けると、[Noise Sensitivity]スライダーが移動します。

詳細については、Serato DJソフトウェアマニュアルを参照してください。Serato DJソフトウェアマニュアルは下記URLからダウンロードできます。

<http://serato.com/dj/downloads>

※ キャリブレーションデッキが表示されない場合は、SETUP画面の[Expansion Packs]タブで、[Vinyl/CD Control]を選択してから[Enable Vinyl/CD control]チェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。
※ スコープ上に緑の輪が表示されない場合は、以下の項目を確認してください。
・ アナログプレーヤーまたはDJプレーヤーとDDJ-SX2がRCAケーブルで正しく接続されていることを確認してください。
・ アナログプレーヤーのアース線が、DDJ-SX2の[SIGNAL GND]端子に接続されていることを確認してください。
・ DDJ-SX2の[INPUT SELECT]スイッチが[PC]の位置にあることを確認してください。
・ Serato DJのSETUP画面の[Audio]タブを選択して[TURNABLES]/[CDJS]が正しく設定されていることを確認してください。

- 5) キャリブレーションをデッキ 1と2のそれぞれについて行います。

DVSを使ってトラックを再生する

[REL]モード / [ABS]モードを選択する

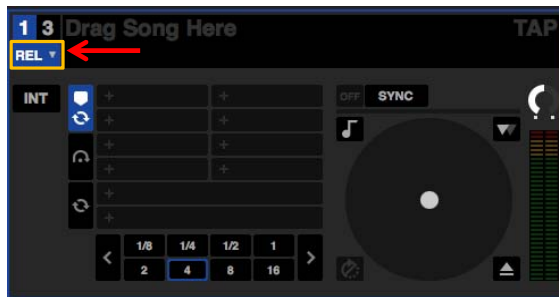
SETUP画面の[Enable Vinyl/CD control]チェックボックスにチェックが入っているとき、Serato DJには3種類の再生オプションがあります。

[REL]モード：
コントロールレコード / CDの前後の動きのみを検出するモードです。CDJのようにホットキューやループ再生ができます。

[ABS]モード：
コントロールレコード / CDの再生位置とトラックの再生位置がリンクするモードです。

[INT]モード：
コントロールレコード / CDを使わないモードです。DDJ-SX2のボタンやジョグダイヤルを使ってトラックの再生をコントロールすることができます。

[REL]モード / [ABS]モードを選択するには、バーチャルデッキ画面上のバイニールコントロールモードボタンをクリックします。



トラックをインポートする

トラックのインポートの方法は、Serato DJソフトウェアマニュアルを参照してください。Serato DJソフトウェアマニュアルは下記URLからダウンロードできます。

<http://serato.com/dj/downloads>

トラックをロードして再生する

※ [MASTER OUT 1]端子、[MASTER OUT 2]端子、および[BOOTH OUT]端子に接続している機器のボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

- 1) DDJ-SX2の[BACK]ボタンを押して、コンピューター画面の[crates]パネルにカーソルを移動させて、ロータリーセレクターを回してcrateなどを選びます。
- 2) ロータリーセレクターを押して、コンピューター画面のライブラリにカーソルを移動させて、ロータリーセレクターを回してトラックを選択します。
- 3) [LOAD]ボタンを押して、選択しているトラックをデッキにロードします。
- 4) プレーヤーを操作して、コントロールレコード / CDを再生します。デッキにロードされたトラックが再生されます。
- 5) [TRIM]つまみを回します。チャンネルレベルインジケータのオレンジ色のインジケータがピークレベルで点灯するように[TRIM]つまみを回して調整してください。
- 6) チャンネルフェーダーを奥側へ動かします。
- 7) [MASTER LEVEL]つまみを回して、スピーカーの音声レベルを調整します。[MASTER OUT 1]端子および[MASTER OUT 2]端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

[REL]モード / [ABS]モード使用時の機能制限について

DVS使用時は、その特性上いくつかの機能が利用できません。詳細は下記一覧をご覧ください。

グループ	機能名称	[REL]モード	[ABS]モード
パフォーマンスパッド機能			
	ホットキュー	✓	✓ ※
	ロール	✓	✗
	スライサー / スライサーループ	✓	✗
	サンブラー / ベロシティサンブラー	✓	✓
	キューループ / セーブドループ	✓	✗
	セーブドフリップ	✓	✗
ループ機能			
	オートループ / ループアクティブ	✓	✗
	ループハーフ / ループダブル / ループシフト	✓	✗
	ループイン / ループスロットセレクト / 4ビートループ	✓	✗
	ループアウト / リループ / ループイグジット	✓	✗
トランスポーズ機能			
	ブレイ / ポーズ / スタッター	✗	✗
	テンポラリキュー	✓	✗
	シンク	✓	✗
ジョグ機能			
	スクラッチ	✗	✗
	ピッチバンド / スキップ	✓	✗
テンポコントロール機能			
	テンポスライダー	✗	✗
	キーロック	✓	✓
	テンポリセット / テンポレンジ	✗	✗
フリップ機能			
	フリップレック / フリップループ	✓	✗
	フリップスタート / フリップ オン/オフ	✓	✗
	フリップスロットセレクト / フリップセーブ	✓	✗
その他機能			
	ニードルサーチ	✓	✗
	スリッパホットキュー	✓	✗
	スリッパオートループ / スリッパマニュアルループ	✓	✗
	スリッパブレーキング / スリッパスクラッチ	✗	✗
	センサー	✓	✗
	リバースプレイ	✗	✗
	チャンネルフェーダースタート / クロスフェーダースタート	✗	✗
	録音	✗	✗

✓ 使用可能、✗ 使用不可

※ ホットキューの設定のみ可能です。(ホットキューを呼び出すことはできません)

故障かな? と思ったら

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
録音ができない。	DVS機能が有効になっていませんか？	SETUP画面の[Enable Vinyl/CD] control]チェックボックスのチェックを外してDVS機能を無効にしてください。
キャリブレーションデッキのスコープ上に緑の輪が表示されない	[Zoom]スライダは適切な位置になっていますか？ アナログプレーヤーまたはDJプレーヤーと本機のチャンネル 3およびチャンネル 4のCD端子をRCAケーブルで接続していませんか？ [TURNTABLES] / [CDJS]の設定は適切ですか？	スコープ上に緑の輪が表示されるように、[Zoom]スライダを調整してください。 チャンネル 3およびチャンネル 4は、DVSに対応していません。 チャンネル 1およびチャンネル 2とアナログプレーヤーまたはDJプレーヤーをRCAケーブルで接続してください。 アナログプレーヤーをお使いの場合は、SETUP画面の[DECK SETUP]で[TURNTABLES]を選択してください。 DJプレーヤーをお使いの場合は、SETUP画面の[DECK SETUP]で[CDJS]を選択してください。
ホットキューの呼び出しができない。 ループ再生ができない。	本機の[INPUT SELECT]スイッチは[PC]ポジションになっていますか？ アナログプレーヤーのアース線は、本機の[SIGNAL GND]端子に接続されていますか？ [ABS]モードに設定されていませんか？	DVS使用時は、本機の[INPUT SELECT]スイッチを[PC]ポジションにしてください。 アナログプレーヤーのアース線を本機の[SIGNAL GND]端子に接続してください。 ホットキューやループを使う場合は、[REL]モードに設定してください。

商標および登録商標について

- ・ Pioneerはパイオニア株式会社の登録商標です。
- ・ Windowsは米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Mac OSおよびFinderは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ Serato DJおよびSerato DVS Expansion Packは、Serato Audio Research社の登録商標です。

©2014 パイオニア株式会社 禁無断転載

パイオニア株式会社

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号